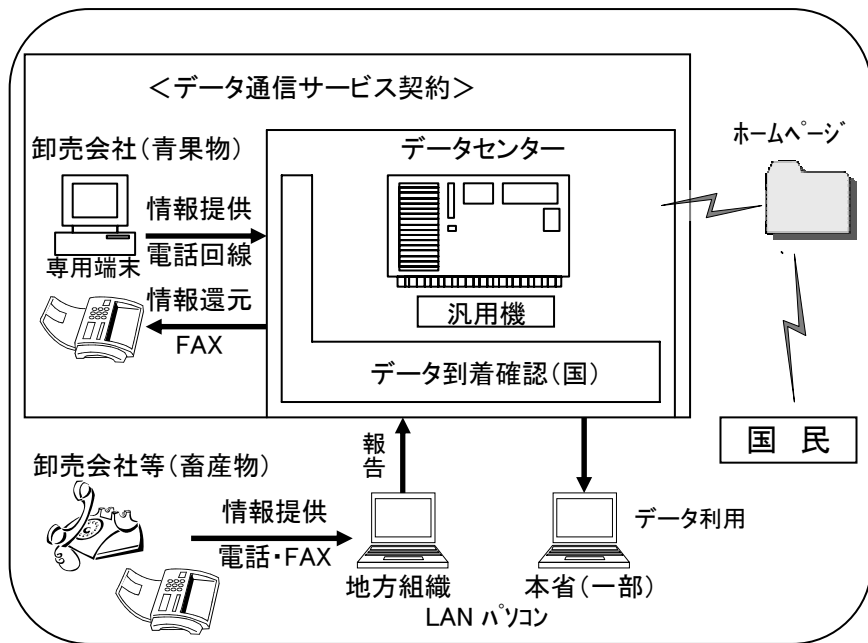
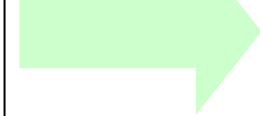
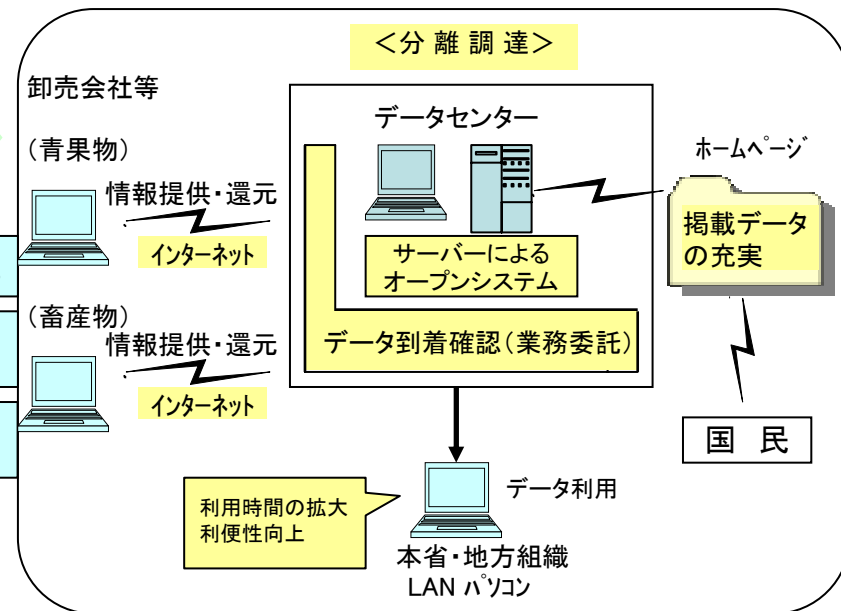


生鮮食料品流通情報データ通信システムに係る業務・システムの最適化計画についての概要

【現状】



【最適化後】



- 情報提供機能の向上
- 契約形態の見直しによる経費削減
- 業務の見直し、情報収集等の民間委託

流通情報調査業務・システムの課題

1. 国民のニーズ等への対応
2. 卸売市場の電子化を見据えた見直し
3. 事務・事業の減量・効率化
4. システム経費の削減



最適化の基本理念と実施内容

1. 情報提供機能の向上
 - ・ホームページにおける提供情報の充実
 - ・加工分析機能の充実
 - ・データ蓄積期間の拡充
2. 情報提供者の負担軽減等
 - ・専用端末の廃止
 - ・インターネットを利用した情報収集と情報還元
3. 業務の簡素化、民間委託の推進等による効率化
 - ・マーケット・レポート(卸売)等の廃止
 - ・情報提供者からの収集・取りまとめ結果の報告等を民間委託
4. 現行システムの刷新等による経費の削減
 - ・データ通信サービス契約の廃止
 - ・汎用機からサーバーを使用したオープンシステム化
 - ・将来の業務内容の見直し等に柔軟な対応が可能なシステムの構築

効果

- 年間約1.7億円のシステム運用経費を削減
- 年間延べ約1.6万時間の業務処理時間を短縮
- 年間延べ約1.3万時間の情報提供者業務処理時間を短縮